

## 1. 2025年度活動目標

- (1) 事業所及び担当者の顔の見える関係を築く
- (2) 法令遵守など運営に必要な基本的情報の共有化を図る
- (3) 地域の課題を共有化し、共同して課題に取り組む
- (4) 地域に根差した多職種連携に取り組む

## 2. 総括

### (1)全体として

令和7年も月1回の役員会を含め、連絡会主催の研修や会議はオンラインでの開催となりました。オンライン上では顔の見える関係は有効ではありましたが、業務終了後の夜間開催が多く、働き方の課題も残されております。多くの事業所が人材不足の課題、人材育成の課題、介護保険制度の理解、など苦悩を乗り越えながら情報の共有化を図る進捗となりました。市内通所事業所は通常規模 71、パーソナル(認知症対応型)17、地域密着 56、通りハ 16 の計 170 事業所です。

市内 14 ある連絡会でも通所連絡会は大所帯であります。

今年度で連絡会主催の合同運営推進会議も終了となり、来年度からは各事業所での開催となります。連絡会としても介護保険課を中心とした行政との連携、情報共有を引き続き継続いたします。

### (2)ブロック会（年2回実施）

今年度も町田全域の事業所が参加し、オンラインにて2回開催しました。第1回(9月・29事業所・41名参加)は「職場環境の向上や働きやすさの改善策」をテーマとして実施。アンケートでは、テーマについて「良かった」と回答した方100%でした。自由記述では、他事業所の具体的な工夫、ICT・AI活用、面談・教育体制など多様な実践を知ること、働きやすさ向上の視点が広がったとの声が多く寄せられました。

第2回(2月・25事業所・53名参加)は「その工夫、きっと誰かのヒントになる」～レクリエーション・アクティビティ実践交流会～をテーマに、現場での取組み事例を共有し合う活発なディスカッションとなり、参加者からは多くのヒントを得られた、自事業所でも取り入れてみたい、参加して良かったとの意見が寄せられました。

### (3)パーソナルデイ(認知症対応型)サービス部会

2025年度も小規模通所事業所と合同で、オンライン開催となりました。

1回目は7月23日に運営指導について意見交換を行いました。2回目は1月22日に最後の合同運営推進会議を開催、54事業所65名の参加となりました。内容は地域との関りについて、2事業所の取り組みの発表していただきました。来年度以降は自事業所で年2回の運営推進会議となるにあたり、参考になる内容だったと好評でした。

### (4)小規模通所事業所部会

全53事業所 うち会員40事業所 会員率73.2%

2025年度も引き続き地域密着型の事業所を中心として、パーソナルデイサービス部会と合同にて取り組みました。上期は7/23に『2025年度最新運営指導について』、下期は1/22に合同運

営推進会議として2施設より『合同運営推進会議の事例紹介』をして頂く形で開催し、実施しました。残念ではありますが、今期を持ちまして合同運営推進会議は終了となります。今後も小規模通所事業所部会を盛り上げていけるように取り組んで参ります。

### (5)通所リハビリ部会

8月と1月にオンラインにて開催しました。8月に行った1回目では「2025年実地調査」「送迎スタッフの状況」等に関して情報共有・意見交換を行いました。1月の2回目では「入浴サービス」、「虐待防止委員会」についてだけでなく「ケアプランデータ連携システム」や「地震が起きた時の送り届けについて」等の意見交換がありました。

### (6)合同運営推進会議 54事業所 65名参加

今回は、運営推進会議ガイドライン「7会議の議題」から「地域との連携・交流に関すること、その他個別課題に対する意見交換」、「その他 会議を運営 するうえで必要な事項」として開催しました。これからの自事業所での運営推進会議、活動にむけて、多様な地域との関わり方ふくめ参考になればと考え、成り立ちや運営の方針、活動内容が様々な2事業所から事例発表をおこないました。市役所からは、ガイドラインに基づく今後の合同運営推進会議についてお話があり、私どもとしては、運営推進会議の重要性(運営基準違反)や実施報告書・議事録の作成、参加構成員表の保管有無などについて改めて確認をおこないました。

合同運営推進会議の内容につきましては、自事業所の取り組みに活かせるかどうか、各事業所で構成員への報告と検討をおこなうことで運営推進会議開催1カウントとなっておりますのでよろしく願いいたします。

市内の事故・ヒヤリハット事例や災害時連携ほか、市役所も参加し会員事業所で情報を共有して考えることができた貴重な機会でありましたが、いったん町田市合同運営推進会議は今回で終了となります。長きにわたり、ご理解ご協力いただきありがとうございました。

## 3. 活動報告

### (1)役員会及び通信発行 実績

毎月(4月～翌2月) 第2木曜 18:10～ 役員会を実施。平均10名程度(参加率70%程度)オンラインにて実施

毎月役員会で議題となった内容を取りまとめた通信を作成して会員事業所にメールにて送信いたしました。

### (2)ブロック会 活動実施内容

#### ①第1回テーマは『職場環境の向上や働きやすさの改善策(成功事例・失敗事例)』

9月18日(木) オンライン開催 18:00～20:00 29事業所 41名参加

・圏域・職種を分けずに開催

・多職種の視点で、グループディスカッションを行った。(1グループ8名前後)

グループ発表なく各グループでじっくりと情報共有ができ、学びの場となった。

#### ②第2回テーマは『その工夫、きっとだれかの役に立つ ～レクリエーション・アクティビティ実践交流会～』

2月19日(木) オンライン開催 18:00~20:00 25事業所 53名参加

- ・圏域・職種を分けずに開催
  - ・1グループ7名前後、5グループに分かれてディスカッションを行った。
- 各事業所の人気のあるレクや独自の取り組み等を発表し、デイサービスのレクに大いに役立つ企画となった。

### (3)小規模デイ部会・パーソナルデイサービス部会

①第1回テーマは7/23に『2025年度最新運営指導について』として直近の運営指導に入った事業所から情報共有と傾向と対策を会員事業所同士で情報交換を行った。

オンライン開催 23事業所 33名参加

- ・パーソナルデイサービス部会・小規模デイサービス部会合同で開催
- ・服薬管理、外出機能訓練、各種加算、送迎などの注意事項も議題として話し合った。

②第2回テーマは「地域連携事例検討会」

参加事業所から地域連携としてボランティア事例を持ち寄り、グループワークを行い対策等を共有した。

1月22日(木) オンライン開催 54事業所 65名参加 (過去最大の参加)

- ・合同運営推進会議に統合して開催 2事業所の事例発表。  
(つくしのデイサービス)(みずきの家デイサービス)
- ・介護保険課からのお知らせとして今年度最後の合同での開催となる。  
(ガイドラインに見合った開催を求められるため)

### (4)通所リハビリ部会

8月と1月にオンラインにて開催しました。8月に行った1回目では「2025年実地調査」「送迎スタッフの状況」等に関して情報共有・意見交換を行いました。

1月の2回目では「入浴サービス」、「虐待防止委員会」についてだけでなく「ケアプランデータ連携システム」や「地震が起きた時の送り届けについて」等の意見交換がありました。

### (5)全体会

①交流会 役員会の参加も厳しい状況もあり、前年におこなった対面交流は実施しなかった。

②総会 3月12日(木) オンライン開催

内容: ①2025年度活動報告

②役員を選任及び会長の選任について

③2026年度事業計画について

### (6)事業所情報から情報発信

25年度も、町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトのホームページ上にある「医療介護資源マップ」にリンクさせている通所事業所の情報を最新のものに更新しました。(更新作業は、年に1

回おこなっています)

2026年2月 現在 市内通所事業所 170事業所のうち対象となる 114 会員事業所  
消防訓練、各種研修(BCP、虐待、感染症、ハラスメント)運営推進会議の開催などのアナウンスを  
会議研修メールなどでも行った。

また G ビズ、の取得、J グランツ、ケアプランデータ連携システム、などの情報提供も促した。

## (7)「他事業所交換研修」

本年度は、一部の事業所間で見学を含めた個別の交換研修が実施されました。実施された事業所にとって、他事業所の取り組みを見ることは有意義なものとなりました。次年度も引き続き、積極的に行っていきます。

町田市介護人材開発センターHome>つながる>町田市通所事業所連絡会>連絡会からの情報

## (8)担当会員による外部連絡会等への連携と参加

### ①町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト協議会 1名

年3回 協議会 医師会館 19時から20時30分まで

会員事業所向けに家トレの配布と追加配布

医療・介護資源マップ掲載情報の更新

町プロ協議会で、ACP 啓発部会と他職種連携研修部会が発足し、各 1 名参加。

### ②町田市介護人材開発センター運営委員会 1 名

・年2回の運営会議・(人材開発センターの運営に関する)

・毎年秋に開催のアクティブ in 町田 運営に関するメンバー

### ③町田市認知症施策推進協議会 専任1名 サブ専任 1 名

連絡会として協議会メンバーとして参加し、協議内容について役員会で共有しました。なお、各回の資料及び会議録は町田市 HP に掲載されています。施策実現のために高齢者支援課が事務局として後方支援・情報提供・施策提案を行っております。

## (9) 残された課題

① 役員会も業務のひとつとして働き方(運用時間など)の負担軽減を考えなくてはならない

② 会員として有益な情報の収集場所と相談できる横のつながり

③ 行政との積極的な意見交換と情報共有

④ 現場での業務負担軽減となるための活動や研修

⑤ 無理なく活動ができるよう柔軟な規約や議案の提案

以上